

兵庫県細胞検査士会 2022年度 第2回役員会（WEB会議）議事録

日時：2022年8月31日（水）19：05～20：05

場所：WEB会議（Microsoft Teams）

参加：岩本英樹、上岡英樹、小川隆文、川越道夫、川嶋雅也、川村道広、駒井隆夫、高田直樹、
鳥居良貴、永谷たみ、中村純子、布引治、松木慎一郎、山尾直輝、山下展弘、

欠席：北健二、真田浩一、塚本龍子、

（敬称略・あいうえお順）

I. 報告事項

1) 日本臨床細胞学会について

- ・第61回日本臨床細胞学会秋期大会シンポジウムでのアンケート調査協力依頼
「細胞検査士の研究環境の整備について」のテーマで、若手細胞検査士を対象とした研究活動への意識調査としてのアンケート依頼（MLでも配信済）。

2) 日本細胞検査士会 HP の「会員専用」のPW変更について

- ・HPの会員専用のページのPWを9月1日に変更予定です。

jsc2020 → jsc2022

今月に届けられる細胞検査士会報にお知らせが記載されます。

3) 2021年度細胞検査士会公益広報事業活動調査表を日本細胞検査士会渉外委員会に提出 （添付資料参照）

4) 第47回日本臨床細胞学会近畿連合会学術集会について

- ・日時：令和4年12月11日（日）
- ・場所：京都大学百周年時計台記念館（Web併用開催予定）
- ・学術集会長：南口早智子（京都大学医学部附属病院 病理診断科）
- ・内容（下記講演タイトルはいずれも仮題です）：

<講演1>

○HPVワクチンの普及めざして 上田 豊 先生（大阪大学 産科学婦人科学教室）

○子宮頸癌の撲滅をめざして（HPVと細胞診併用検診）

岩成 治 先生（島根県立中央病院 産婦人科）

<講演2>

○甲状腺FNAのピットフォール 鈴木 彩菜 先生（隈病院 臨床検査科）

○尿細胞診のピットフォール 大江 知里 先生（関西医科大学附属病院 病理診断科）

<講演3>

○洗浄検体などの細胞検体を用いた遺伝子検査

元井 紀子 先生（埼玉県立がんセンター 病理診断科）

○細胞診材料における人工知能での判定の可能性

塚本 徹哉 先生（藤田医科大学 医学部病理診断学）

<教育企画（ワークショップ）>

- セルブロック作製法の工夫① 濱川 真治 先生（公立昭和病院 臨床検査科）
- セルブロック作製法の工夫② 川上 智史 先生（鳥取県立中央病院 中央検査室）

<スライドカンファレンス（3題）>

1. 婦人科検体

【回答者】：専門医 吉安 可奈子 先生（兵庫医科大学病院 病理診断科）

2. 非婦人科検体（尿、体腔液など）

【回答者】：細胞検査士 村井 志織 先生（神戸市立医療センター西市民病院）

3. 穿刺吸引検体（臓器指定なし）

5) 地区委員 WEB 会議について

- ・報告事項は会長または会長代理（理事）が行い、審議事項の時、理事は退出し地区委員のみで行うこととし、議長、議事録作成者は順に全員が担当するように進行する。ただし、Zoom 管理者である山尾理事と、オブザーバーとして理事 1 名（山下さん、川村さん）は引き続き会議に残る。基本的に理事は発言権がありません。必要な場合は議長の発言依頼または許可があれば発言する。
- ・会長等が招集する場合と地区委員が必要に応じて自分達で招集する場合がある。
- ・地区委員のみで活発な討議がされ、意見をまとめて理事会および会長にあげて決議してもらう形式。
- ・送付は 9 月初旬となる。

6) 2022 年度研修会について

- ・下記研修会の案内と ML 登録依頼を紙媒体（ハガキまたは封筒）による発送（8 月末予定）
 - ① スライドカンファレンスについて
 - ・事前公開（9/12～9/21 の予定）
 - ・スラカンの日程（9/22（木）18 時～）、メイン会場、当日スケジュール等調整中
 - ② バーチャルスライドを用いた鏡検実習について
 - ・日程およびスケジュール等調整中

II. 審議事項

1) LOVE49 キャンペーンについて

1. 今年度の報告

実行委員会の主催ということでキャンペーン活動を開催。

チラシ・資料は 50 部用意（30～40 部：置いといて取って頂く形）。ミニコンサート、ときわがかりによる啓発。（細胞診認定医は来られていたがお声かからずとのこと。常盤の先生に代理出席。）

2. 会計（費用）について

4 月開催の活動費は決算が 9 月ごろ（秋ころ）のため、その活動費は次年度に清算される流れが確認された（事後請求）。大まかな内訳は兵庫県臨床細胞学会、兵庫県細胞検査士会、兵庫県臨床

検査技師会の各会から 75000 円ずつ出資、日本臨床細胞学会から補助金として 50000 円支給されている。

昨年度（2021 年度）は活動していないため、今年は請求されない。LOVE49 実行委員会において繰り越し金はないですが、兵庫県としては日本臨床細胞学会からの昨年度（2021 年度）補助金はそのままであり、兵庫県の学会および検査士会事務局にて預かっている。

3. 次年度に向けて

LOVE49 実行委員会としてはできることやりましょう。という団体です。

そのため当会として次年度に向けてできることを、またそれに伴った出せる予算を考えていきましょう。案として挙げられたには Youtube はこれからやりたい事のひとつ。またコロナ前のような形はとれないと思うので、検査士会としてできることを行う。

役員会メーリングリストにてご意見等を聞くこととする。

2) その他

今後、研修会等を行っていくにあたり、ある施設が契約している ZOOM を使用するのではなく、当会としてアカウントを持つ方がよい。今後の審議事項としたい。

以上

（文責：鳥居良貴）